

海況速報（クロロフィル a 分布）

平成 30 年 9 月 18 日

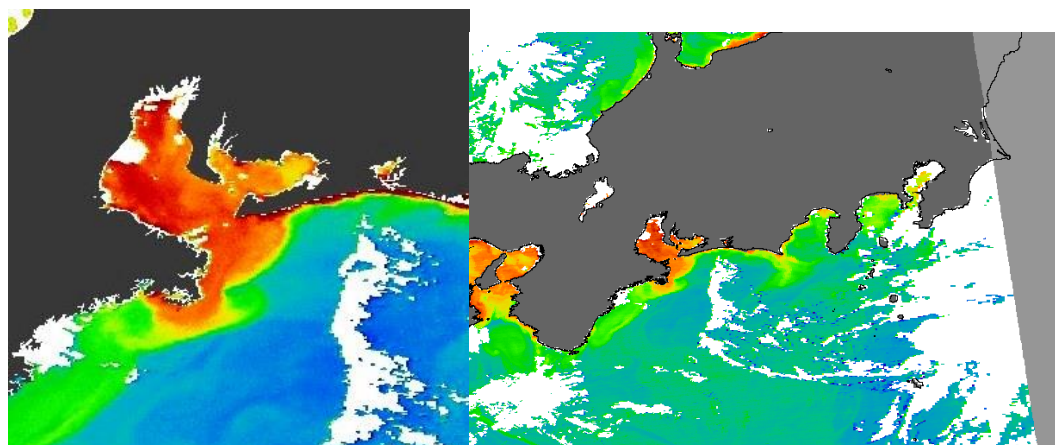
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

9 月 18 日の人工衛星クロロフィル a 画像を見ると、クロロフィル a 濃度は、伊勢・三河湾及び湾口域で高くなっています。特に伊勢湾の西側（三重県側）で高くなっています。渥美外海には黒潮から暖水が流入しているため、沖合域はではクロロフィル a 濃度が低くなっています。

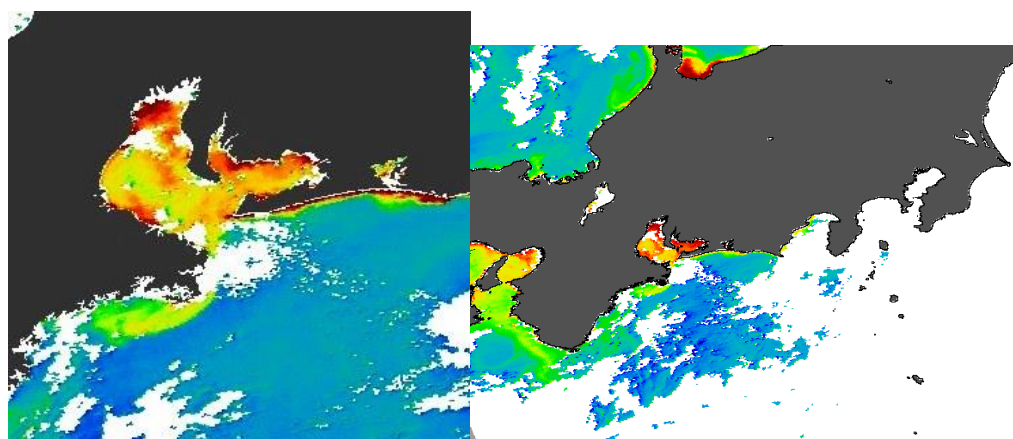
クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、8 月 23~24 日に通過した台風 20 号の影響により、伊勢・三河湾、湾口域、渥美半島沿岸では高い濃度を示し、その後昨年より高い値で推移しています。渥美外海は、沿岸水の影響を受けにくいので、昨年と同じように推移しています。

（宇宙航空研究開発機構 (JAXA) / 東海大学 (TSIC/TRIC) 提供の MODIS 画像）

9 月 18 日の AQUA によるクロロフィル a 濃度分布



9 月 3 日の AQUA によるクロロフィル a 濃度分布



※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィル a 濃度の変動）

平成 30 年 9 月 18 日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。

(9 月 18 日までのデータ)

